

## 2018年3月期決算ハイライト (単体)

決算の  
ポイント

- 地元の皆さまの預金を地元の皆さまに使っていただく「資金の地域内循環」により、お客さまの満足度が高まり、預金・貸出金ともに増加いたしました。
- 当期純利益は、貸出金利息の増加や法人税等調整額が減少したことから41億9百万円となり、7期連続の増益を達成し、過去最高益を更新いたしました。
- 単体自己資本比率（国内基準）では、銀行業界初のライツイシューによる増資並びに利益の積み増しにより、8.72%となりました。

## 地元から地元へ 資金の地域内循環

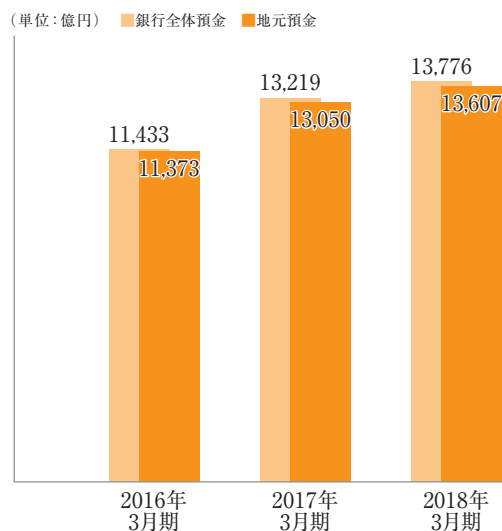
(地元：山口県・広島県・福岡県)

## 預金残高

1兆3,776億円

(前期比+557億円)

うち地元割合 ▶ 98.7%

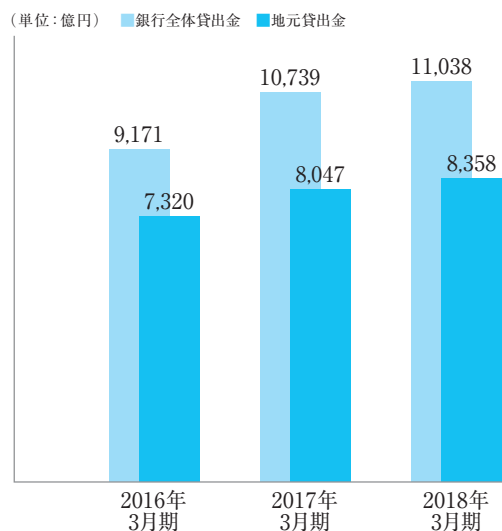


## 貸出金残高

1兆1,038億円

(前期比+298億円)

うち地元割合 ▶ 75.7%



## 経常収益

**276億28百万円**

(前期比△6億27百万円)

## 経常利益

**63億18百万円**

(前期比△2億40百万円)

## 当期純利益

**41億9百万円**

(前期比+91百万円)

## 自己資本比率

**8.72%**

(前期比+0.52ポイント)

## 開示債権比率

**1.29%**

(前期比△0.15ポイント)

